

交通誘導警備業務（2級）実技訓練運用マニュアル No.1

科 目	○ 交通誘導業務用資機材を使用した人又は車両の誘導要領	使用機材	セフティコーン・・・・・・・・・・5本 セフティコーンリング・・・・・・・・5個 手旗（紅白）・・・・・・・・・・50組 赤色灯・・・・・・・・・・50本 大旗・・・・・・・・・・100本
実施訓練細目	○ 手旗による車両誘導要領 ○ 赤色灯による車両誘導要領 ○ 大旗による車両誘導要領	実施場所	屋外又は屋内
		時間配分	50分
		受講者数	50名
教本参照ページ		講 師	責任講師—1名、講師—4名

内 容

訓練目的 「基本の姿勢」及び「停止」・「進行」・「徐行」・「幅寄せ」の各合図の方法を、資機材を換えながら警笛併用にて習得させる。

状況設定 1 大旗使用による合図要領の資機材は、下図のとおり配置する。

〔資機材設営図〕

◎ 講師
○ セフティコーン
① 大旗

2 個別訓練会場の設営は、会場の広さ等を勘案して行う。例を示すと下図のとおりである。

〔訓練隊形図〕

◎

4m

2m

10m

44m

実施要領

＜手旗による車両誘導要領＞

- 1 <時間配分> 50分（内訳：解説、模範演技、集合訓練20分、個別訓練3分×10回＝30分）
- 2 責任講師は、受講者を集合させ、「手旗による車両誘導要領」の実技訓練を実施する。
- 3 責任講師は、集合訓練会場に受講者を横隊で整列させる。（模範演技の見学が可能な場所とする。）
- 4 責任講師は拡声器を使用して、以下の状況説明を行う。

「警備員が歩道上に立った状態で、進行してくる車両に対し、停止の合図によって停止を求めた後、進行の合図によって進行させ、次に、徐行の合図によって徐行を求める。このときの各合図を、警笛を併用して行う。」

- 5 模範演技見学のため、受講者の前列を座らせる等の措置をとる。
- 6 講師（警備員役）は、手旗（小旗）一組を持ち、①の位置に立ち、模範演技を行う。

号令：「只今から、手旗による車両誘導要領の模範演技を実施する、始め。」

- (1) 基本の姿勢（軽くかかとを接し、ひざと背を伸ばし、両ひじは自然に垂らして、上体を正しく保つ。）で、「実施します。」と申告したあと、白旗を右手に、赤旗を左手に持ち、警笛を口にくわえ、進行してくる車両（想定）に正対する。
- (2) 予告の合図は、左手に持った赤旗を、側頭部に沿って垂直に上げ、相手を注視しながら小角度（約30センチメートル）に左右に振る。
- (3) 停止の合図は、赤旗を体の真横に肩の高さまで水平に下ろし、車両を約1メートル手前に停止させ（想定）、停止確認後に、おおむね15度の礼を行う。
- (4) 警笛は、予告の合図を行いながら約3秒間吹く。このとき、腕を水平に下ろし終わると同時に警笛の最後が一致するようにする。警笛の最後は、吹流しではなく、「ピー、ピッ」と区切り、手旗をピタリと止める。
- (5) 左手の赤旗をそのままの状態、体を車両の進行方向と平行になるように左向け左を行い、進行の合図まで停止の合図を継続する。
- (6) 進行の合図は、体を進行させようとする車両（想定）の進行方向に平行させる。
- (7) 進行方向の安全を確認した後、相手を注視しながら赤旗を体側に下ろし、右手の白旗を真横に上げ、進行させようとする車両方向に向ける。
- (8) 白旗を大きく半円を描くように、下を通過して左へ45度振る。
- (9) 警笛は、白旗の振りに合わせて約0.5秒、「ピッ」と吹く。
- (10) 次に、徐行の合図は、体を、徐行を求める車両の進行方向に平行にさせる。
- (11) 相手を注視し、右手の白旗を体の真横に、手の甲を上にして肩の高さまで水平に上げる。
- (12) 白旗を、手首のスナップにより、上下に振る。
- (13) 警笛は、白旗の振りに合わせて、等間隔に「ピ、ピ、ピ、ピ」と短く繰り返し吹く。
- (14) 幅寄せの合図は、体を、幅寄せを求めようとする相手の進行方向に正対又はやや半身にさせる。
- (15) 右に寄せる（相手から見て）場合は、右手を垂直に上げ相手を注視しながら右から左（頭上から肩の高さ）に向かって白旗を振る。
- (16) 戻すときは逆の動作で行う。
- (17) 左に寄せる（相手から見て）場合は、左手を垂直に上げ相手を注視しながら左から右（頭上から肩の高さ）に向かって旗（白旗）を振る。

- (18) 戻すときは、逆の動作で行う。
(19) 車両が通過したのを確認後（想定）、手旗を足元に置き「終了しました。」と申告する。

<赤色灯による車両誘導要領>

- 7 <時間配分> 50分（内訳：解説、模範演技、集合訓練 20分、個別訓練 3分×10回＝30分）
- 8 責任講師は、受講者を集合させ、「赤色灯による車両誘導要領」の実技訓練を実施する。
- 9 責任講師は、集合訓練会場に受講者を横隊で整列させる。（模範演技の見学が可能な場所とする。）
- 10 責任講師は拡声器を使用して、以下の状況説明を行う。
「警備員が、歩道上に立った状態で、進行してくる車両に対し停止の合図により停止を求めた後、進行の合図によって進行させ、次に、徐行の合図により徐行を求める。このときの各合図を、警笛を併用して習得する。」
- 11 模範演技見学のため、受講者の前列を座らせる等の措置をとる。
- 12 講師（警備員役）は、赤色灯一本を持ち、①の位置に立ち、模範演技を行う。
号令：「只今から、赤色灯による車両誘導要領の模範演技を実施する。始め。」
- (1) 基本の姿勢（軽くかかとを接し、ひざと背を伸ばし、両ひじは自然に垂らして、上体を正しく保つ。）で「実施します。」と申告したあと、赤色灯を左手に持ち、警笛を口にくわえ、進行してくる1台目の車両（想定）に正対する。
- (2) 予告の合図は、左手に持った赤色灯を、側頭部に沿って垂直に上げ、相手を注視しながら、左右に約30センチメートルの振り幅で振る。
- (3) 赤色灯を、体の真横に肩の高さまで水平に下ろし、車両を約1メートル手前に停止させ（想定）、停止確認後に、おおむね15度の礼を行う。
- (4) 警笛は、予告の合図を行いながら約3秒間吹く。このとき、腕を水平に下ろし終わると同時に警笛の最後が一致するようにする。警笛の最後は、吹流してではなく、「ピー、ピッ」と区切り、赤色灯をピタリと止める。
- (5) 左手の赤色灯をそのままの状態、体を車両の進行方向と平行になるよう左向け左を行い、進行の合図まで停止の合図を継続する。
- (6) 進行の合図は、体を進行させようとする車両の進行方向と平行にする。
- (7) 進行方向の安全を確認し、相手を注視しながら赤色灯を体側に下ろし、右手に持ち替えて真横に上げ、進行させようとする車両方向に向ける。
- (8) 赤色灯を大きく円を描くように、下を通過して左へ45度振る。
- (9) 警笛は、赤色灯の振りに合わせて約0.5秒、「ピッ」と吹く。
- (10) 次に、徐行の合図は、体を、徐行を求める車両の進行方向に平行させる。
- (11) 相手を注視し、右手の赤色灯を肩の高さまで水平に真横に上げる。
- (12) 赤色灯を手首のスナップにより、約15センチメートルの振り幅で上下に振る。
- (13) 警笛は赤色灯の振りに合わせて、等間隔に、「ピ、ピ、ピ、ピ」と短く繰り返し吹く。
- (14) 幅寄せの合図は、体を、幅寄せを求めようとする相手の進行方向に正対又はやや半身にさせる。
- (15) 右に寄せる（相手から見て）場合は、右手を垂直に上げ、相手を注視しながら右から左（頭上から肩の高さ）に向かって赤色灯を振る。

- (16) 戻すときは逆の動作で行う。
- (17) 左に寄せる（相手から見て）場合は、左手を垂直に上げ相手を注視しながら左から右（頭上から肩の高さ）に向かって赤色灯を振る。
- (18) 戻すときは逆の動作で行う。
- (19) 車両が通過したのを確認後（想定）、赤色灯を足元に置き「終了しました。」

<大旗による車両誘導要領>

13 <時間配分> 50分(内訳：解説、模範演技・集合訓練 20分、個別訓練 3分×10回=30分)

14 責任講師は、受講者を集合させ、「大旗による車両誘導要領」の実技訓練を実施する。

15 責任講師は、集合訓練会場に受講者を横隊で整列させる。

16 責任講師は拡声器を使用して、以下の状況説明を行う。

「大旗を使用した車両誘導を行うときの、適切な位置の選定及び合図の基本（徐行・停止・進行・幅寄せ）を、習得する。」

17 模範演技見学のため、受講生の前列を座らせる等の措置をとる。

18 責任講師は、講師（警備員役）に模範演技を行わせ、拡声器を用いて演技の解説を行う。

号令；「只今から、大旗による車両誘導要領の模範演技を実施する。徐行の合図、始め。」

- (1) 徐行の合図は、大旗1本を右手に持ち、警笛を左手でくわえ、進行してくる車両（想定）に正対して、大旗を広げ、右手で旗の握り口を、左手は旗の反対側を右手と対称となるように握り、左足を半歩左後方に引く。
- (2) 進行してくる車両の運転手に注目し、大旗を頭上に上げ、まっすぐ体の前面を通り、体軸から下方約30度の位置までゆっくりと下に振る。戻すときは、逆の動作で頭上まで戻す。この動作を5回繰り返す。
- (3) 警笛は頭上から下へ振り下ろすときに、「ピッ」と短く吹く。
- (4) 基本の姿勢に戻り、大旗を絞り左手に持ち、右手で警笛をはずして、次の号令を待つ。
- (5) 責任講師は、「やめ」と号令をかける。続いて「停止の合図、始め。」と号令をかける。
- (6) 停止の合図は、右手で大旗を取り、基本の姿勢のまま左手に両大旗を持ち、右手で警笛をくわえ、1本ずつ開き、それぞれ旗の握り口を持ち、前方を注視し、両腕のひじを伸ばしたまま側頭部に沿って垂直に上げ、車両を注視しながら、先端が約30センチメートルの幅で交差するようにゆっくり振り始め、大きく半円を描くように徐々に振り幅を大きくしていきながら5回頭上で交差させた後、両肩の高さまで水平に下ろす。
- (7) 警笛は、予告の合図を行いながら約3秒間吹く。この場合、腕を水平に下ろし終わると同時に、警笛の最後が一致するようにする。警笛の最後は、吹流しではなく、「ピーッ、ピッ」と区切り、大旗をピタリと止める。
- (8) 両大旗をいったん左手に持ち、右手で警笛を下ろす。その後、大旗を1本ずつ絞り、右手に持っている大旗1本を元の位置に置き、次の号令を待つ。
- (9) 責任講師は、「やめ」と号令をかける。続いて「進行の合図、始め。」と号令をかける。
- (10) 進行の合図は、右手で警笛をくわえたあと、大旗を開き右手に持ち、左足を引いてやや半身の体勢となる。
- (11) 進行方向の安全を確認した後、車両を注視しながら、右手の大旗を肩の高さ水平に上げる。
- (12) 大旗を大きく半円を描くように、体の前を通って、体軸から車両の進行方向へ約45度振

	<p>る。戻すときは逆の動作を行なう。この動作を5回繰り返す。</p> <p>(13) 警笛は、大旗の振りに合わせて約1秒、「ピー」と吹く。</p> <p>(14) 基本の姿勢に戻り、大旗を絞り左手に持ち、右手で警笛をはずして、次の号令を待つ。</p> <p>(15) 責任講師は、「やめ」と号令をかける。続いて「幅寄せの合図、始め。」と号令をかける。</p> <p>(16) 幅寄せの合図は、大旗を開き右手に持ち、進行してくる車両に対して左足を引いてやや半身の体勢になり、大旗を頭上やや右前方に上げ、車両を注視しながら、大きく半円を描くように、ゆっくり振り始め、途中から左肩まで投げるように振り下ろす。戻すときは左肩の高さから手首をやや外側に返しぎみにしながら（大旗がからまないように工夫しながら）元の位置まで戻す。この動作を5回繰り返す。</p> <p>(17) 基本の姿勢に戻り、大旗を左手で絞り左手に持つ。</p> <p>(18) 責任講師は、「やめ。」の号令をかける。</p> <p>(19) 各合図の訓練を行い、受講者全員が習得できるようにする。</p>
<p>指導の ポイント</p>	<p><手旗を使用した基本的合図></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 予告の合図は左手に持った赤旗を垂直に上げているか。 2 予告の合図の際は、車両を注視しながら赤旗を左右に約30センチメートルの振り幅で振っているか。 3 警笛の吹鳴は、停止の合図に合わせて「ピーピッ」と約3秒間吹鳴されているか。 4 警笛の音量は適切か。（極端に小さくないか、音が途中でかすれていないか。） 5 停止の合図は、肩の高さで赤旗が止まっているか。 6 車両の停止完了確認をした後に礼をしているか。 7 赤旗の位置と向きを変えずに「左向け左」にて方向変換を行い、進行方向の安全確認をしているか。 8 進行の合図は、右手の白旗を右肩の高さから下を通して左方約45度まで振られているか。 9 進行の合図に合わせて、警笛は「ピッ」と短音で吹鳴されているか。 10 徐行の合図は、体を車両と平行にし、右手を肩の高さ水平に真横に上げ、手首のスナップで上下に約15センチメートルの振り幅で振り、警笛は「ピ、ピ、ピ、ピ」と等間隔で吹鳴しているか。 11 幅寄せ（右又は左）の合図は、片足（左又は右）を引いて、車両に対してやや半身の体勢になり、頭上やや前方から肩（左又は右）の高さまで振っているか。 <p><赤色灯を使用した基本的合図></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 予告の合図は左手に持った赤色灯を垂直に上げているか。 2 予告の合図の際は、車両を注視しながら赤色灯を左右に30センチメートルの振り幅で振っているか。 3 警笛の吹鳴は、停止の合図に合わせて「ピーピッ」と約3秒間吹鳴されているか。 4 警笛の音量は適切か。（極端に小さくないか、音が途中でかすれていないか。） 5 停止の合図は、肩の高さで赤色灯が止まっているか。 6 車両の停止完了確認をした後に礼をしているか。 7 赤旗の位置と向きを変えずに「左向け左」にて方向変換を行い、進行方向の安全確認をしているか。

- 8 進行の合図は、右手に赤色灯を持ち替え、右肩の高さから下を通して左方約 45 度まで振られているか。
- 9 進行の合図に合わせて、警笛は「ピッ」と短音で吹鳴されているか。
- 10 徐行の合図は、体を車両と平行にし、右手の赤色灯を肩の高さに上げ、手首のスナップで上下に約 15 センチメートルの振り幅で振り、警笛は「ピ、ピ、ピ、ピ」と等間隔で吹鳴しているか。
- 11 幅寄せ（右又は左）の合図は、片足（左又は右）を引いて、車両に対してやや半身の体勢になり、頭上やや前方から肩（左又は右）の高さまで振っているか。

<大旗を使用した基本的合図>

- 1 徐行の合図開始前に、大旗 1 本を右手に持ち、進行車両の運転手に注目し、車両に正対して左足を半歩左後方に引いているか。
- 2 徐行の合図の際に、大旗を開き、右手で旗の柄（所定の握る位置）を、左手で旗の反対側を握り、大旗を頭上に上げ、降ろすときは体軸の下方約 30 度の位置まで振っているか。（5 回繰り返す）
- 3 徐行の合図の際に、警笛は大旗を振り下ろすときに、「ピッ」と短く吹いているか。
- 4 停止の合図の際に、停止合図位置で進行してくる車両に正対し、両大旗を 1 本ずつ開き、旗（所定の握る位置）を持ち、両腕を下から上へ前を通して垂直近くまで頭上に上げ、車両を注視しているか。
- 5 停止の合図の際に、大旗の先端が約 30 センチメートルの幅で交差するようにゆっくり振り始め、大きく半円を描くように徐々に振り幅を大きくしていきながら 4 回頭上で交差させ、5 回目に交差した後、両肩の位置まで水平に下ろしているか。
- 6 停止の合図の際に、警笛は予告の動作によって、約 3 秒間吹き、腕を水平に下ろし終わったときと、警笛の最後が一致するようにして、警笛の最後は吹流しではなく、「ピー、ピッ」と区切り、ピタリと止めているか。
- 7 進行の合図の際に、進行位置で大旗を開いて右手に持ち替え、車両を注視し、体を進行させようとする車両に対し左足を引いてやや半身の体勢になっているか。
- 8 進行の合図の際に、進行方向の安全を確認し、車両を注視しながら、右手の大旗を右肩の高さ水平に上げ、大きく円を描くように、腕は体軸から約 45 度前を通して左へ大きく、5 回振っているか。
- 9 進行の合図の際に、警笛は大旗の振りに合わせて、約 1 秒、「ピー」と吹いているか。
- 10 幅寄せの合図は、車両を注視しながら体を進行してくる車両に対し、左足を引いてやや半身の体勢になっているか。
- 11 幅寄せの合図の際に、大旗を開き、前を通り頭上やや右前方に上げ、車両を注視しながら、大きく半円を描くように、頭上を通して途中から左肩に投げ下ろすように大きく 5 回振っているか。
- 12 戻すときには、元の位置まで戻しているか。